

あぶろうち

つながろう NIPPON 連合

災害情報

連合群馬災害対策救援本部ニュース No.10 2011.05.19

1. フェスティバルで被災地の復興支援の活動！

15日(日) ぐんまふれあいフェスティバルは、「つながろう NIPPON 東日本大震災復興支援」をテーマに、県内9会場で開催し41,600名の来場がありました。

被災地の復旧・復興支援のため、福島県産の農産物や茨城産の煮干しを販売しました。また、高崎では被災地の北茨城市から物産品の実演販売やG-FIVEのヒーローからの義援金の呼びかけ、富岡では福島県相馬市の被災地パネル展示など、各会場では特色を生かした取り組みが行われ支援の輪を広げました。

福島県産の農産物販売(前橋)



北茨城市の物産品実演販売(高崎)



募金箱でカンパの呼びかけ(吾妻)



福島県相馬市の被災地パネル展示(富岡)



茨城産にぼしを売ります(藤岡)



抽選会当選者から救援カンパを
お願いしました(渋川)



22日(日)開催の伊勢崎・沼田・館林会場では群馬県産の野菜や茨城産の煮干しを販売する予定です。皆さま、多数のご参加をお願いいたします。

2. 「第1次ボランティア派遣」避難者の立場に立った思いで活動！

5月2～10日の間、関ブロ「第1次派遣団」が福島県の猪苗代町をベースキャンプに救援活動が行われ、小川副事務局長が参加しました。

救援活動は、郡山と会津を拠点に実施し、被災して2カ月にもなる避難生活者への炊き出しや物資の仕分け等の後方支援を主な任務として行われました。避難所によっては、いまだにお昼はおにぎり2個のところもあり、栄養面からも炊き出しによる野菜入り味噌汁などの提供は、避難者にとって重要な支援となっています。

復興までの道のりは長く険しく、連合の方針である「つながろう NIPPON」を合言葉に、長期の取り組みが予想されますが今後も順次、連合群馬から救援ボランティアへの活動に取り組みます。



3. 新前橋駅で救援カンパを実施！

5月11日夕刻、新前橋駅で4回目の救援カンパを実施し、東電労組4名の方にも義援金の呼びかけにご協力をいただきました。当日は雨が降り、足元が悪い中でしたが、帰宅を急ぐ通勤・通学の方々より15,248円のカンパのご協力をいただきました。中には白い杖を持つ視覚障害者と思われる方が、私たちの呼びかけに耳を傾けてくれカンパをいただきました。



次回は、5月24日(火)の17時30分より高崎駅西口で実施いたします。
皆様のご協力をお願いいたします。

4. 義援金は現在315万円集約しています。

構成組織や各地協の取り組みなど連合群馬の呼びかけで集約された救援カンパは、5月12日現在、3,150,400円となりました。第2次集約の締め切りは、5月31日となっていますので、皆さまの心からのご協力を引き続きお願いいたします。

以上